

## 令和7年度 特色ある学校づくり推進事業 実績報告書

学校番号(125) 豊田市立旭中学校

## 1 テーマ

郷土を見つめ、郷土に学び、自らの生き方を求める生徒の育成をめざして  
～地域の人・もの・こととの関わりをとおして～

## 2 ねらい

- (1) 学年ごとにテーマを設定し、生徒一人一人が個人の課題を追究していく活動(総合的な学習)に取り組み、情報・環境・福祉等の諸課題について、地域の人・自然・文化・産業との関わりを通じた学習をすることにより、自ら学び考える力、自己の生き方を求める力を育成する。
- (2) 地域の福祉施設や保育施設への訪問、世代間、地域間を超えて人と交わり、社会性を高め、人を思いやる心と協調性を高める。
- (3) 地域の施設・名所などへの訪問を通じて、地域の特徴を知るとともに地域の魅力を見直す機会とする。
- (4) 校内整備員には、校内整備の一環として校内周辺の森林の整備や助言等をいただくことで、生徒の学びの時間の一助とする。
- (5) 上記1～4の活動を通して地域から学んだこと及び学習の成果を、随時地域へ発信することで、より深い学びのステップとするとともに、地域の方々への感謝の気持ちを高める。

## 3 活動内容

## (1) 課題を追究する総合的な学習の時間等での活動

## &lt;1年生&gt;

「旭の人・もの・ことから、生き方を学ぶ」をテーマに、旭地区周遊ツアー、旭地区の産業、職業調べ等を実施。

## &lt;2年生&gt;

「旭のもの・人・こと及び職場体験学習から自分の生き方を探る」をテーマに、職場体験学習や企業訪問等を実施。旭中地域会議を開催し、地域の方々と意見交換を実施。

## &lt;3年生&gt;

「魅力発信・ザ★・ハラペーニョ」をテーマとして、わくわく事業に参画し、地域の方々の協力を得ながら特産品であるハラペーニョのPR活動等を実施。

## (2) 福祉施設訪問、保育施設訪問

全校による地域の福祉施設訪問を実施。3年生がこども園訪問を実施。

## 4 成果と課題

## (1) 総合的な学習の時間等の学習を通して

- ・バスを活用して旭地区周遊ツアーを実施し、旭地区の名所、事業所等を訪問した。現地で実物を見たり、歴史等について地域の方と直接意見交換をしたりすることで、旭地区の魅力を再認識できた。また、職場体験学習や企業訪問、地域講師の講話等から、職業観について学ぶことで、自分の生き方について探究的な学習ができた。
- ・地域の方と協力しながら、旭地区の特産品であるハラペーニョのPR活動を実施したことで、生徒が地域の一員であるという意識を高め、旭地区に対して今まで以上に愛着を深めることができた。今後も地域と連携しながら、地域の一員として貢献できるよう取り組んでいく。
- ・保護者アンケートの「特色ある学校づくり推進事業を活用し、特色ある教育活動を行っているか」の項目について、80%以上の保護者が「とてもよい」「よい」と回答していることから、保護者の理解が得られていると考える。

## (2) 施設訪問等を通して

- ・バスを活用して全校生徒による福祉施設訪問を実施した。合唱を披露したり、ゲームやクイズを行ったりするなど、利用者の方々と触れ合った。「貴重な体験ができた」「素敵な時間を過ごすことができた」という生徒の振り返りからも、ボランティア精神やコミュニケーション能力を高めるための充実した時間にできたと考える。
- ・幼児と触れ合う機会を通して、その関わり方の基礎的・基本的な知識を身につけると同時に、コミュニケーション能力を高めることができた。

## (3) 「特色ある学校づくり推進事業」に補助員を配置したことについて

学校敷地内の雑草の処理や施設修繕等、校内整備員の活動により、生徒にとって安心・安全な学習環境を整えることができた。

## 5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・特色ある学校づくり推進事業の取組に関する成果を、地区のイベント等で発表した。
- ・また活動の様子については、学校だよりや学級通信、学校ホームページで、随時、情報発信した。
- ・今年度の学校ホームページアクセス数は、1月末時点で48,000件を越えている。